

令和2年度第6回



石狩市浜益区地域協議会

■日 時 令和3年2月18日 (木)

18時00分 ~

■場 所 浜益支所 3F旧議場

＝ 会 議 次 第 ＝

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

- ① 新年度予算について
- ② 地域おこし協力隊応募状況について
- ③ その他

4 協議事項

- ① 浜益150年記念事業について
- ② ワークーション実証事業について
- ③ その他

5 そ の 他

6 次回の開催日程について

令和2年度 第7回 月 日 () 午後 時 分～

7 閉 会

浜益支所

(単位：千円)

所属名 (款・項・目)	新規 拡充	事業名・事業内容	予算額		
地域振興課 (2・1・3) (2・3・5) (2・3・6)	新規	浜益支所庁舎非常用自家発電設備整備事業 (庁舎管理費) 大規模停電の発生に備え、現地災害対策本部が置かれる浜益支所庁舎の非常用自家発電設備を更新するため実施設計を行う。	4,900		
			財	国・道支出金	
			源	地 方 債	4,900
			内	そ の 他	
			訳	一般財源	
	新規	ワーケーション実証事業 民間企業と連携し、未利用公共施設を活用した滞在型ワーケーションの受入れとITを活用した地域課題解決モデルの展開に向けた実証事業を行う。 ・ワーケーション受入期間 6月～11月 (予定)	2,000		
			財	国・道支出金	
			源	地 方 債	
			内	そ の 他	2,000
			訳	一般財源	
		区民カレンダー製作事業 (浜益区地域振興事業費) 浜益区内の一体感の醸成と地域コミュニティ活動の活性化を図るため、はまます区民カレンダーを製作する実行委員会に経費の一部を交付する。 ・製作部数 1,000部	240		
			財	国・道支出金	
			源	地 方 債	
			内	そ の 他	240
			訳	一般財源	
		水産物等普及プロジェクト事業 (浜益区地域振興事業費) 水産物普及推進及び販路拡大を図るため、浜益ふるさと市場(朝市)や浜益みなと祭り(サマーイベント)等を開催する石狩湾漁協浜益地区青年部に経費の一部を交付する。 ・朝市実施時期 4月25日～5月30日(毎週日曜日開催)	1,882		
			財	国・道支出金	
			源	地 方 債	
			内	そ の 他	1,882
			訳	一般財源	
		浜益フットパスウォーク事業 (浜益区地域振興事業費) 四季折々の自然や風景を楽しむフットパスウォークを開催する浜益観光まちづくり推進協議会に開催経費の一部を交付する。 ・実施回数 4回 ・募集人員 80人(20人×4回)	160		
			財	国・道支出金	
			源	地 方 債	
			内	そ の 他	160
			訳	一般財源	
	新規	浜益150年記念事業 (浜益区地域振興事業費) 浜益150年を記念し、幅広い世代の交流による郷土愛の醸成を図るため、浜益コミュニティセンターきらり隣接地に遊具等を設置する実行委員会に対し、活動経費を交付する。	6,000		
			財	国・道支出金	
			源	地 方 債	
			内	そ の 他	6,000
			訳	一般財源	
	拡充	浜益区地域おこし協力隊活動事業 地域おこし協力隊による住民・地域団体と連携した活動や特産品の開発、情報発信等の地域協力活動を通じて、定住定着と地域力の維持向上を図る。 ・令和3年度は継続2人に加え、新たに1人を採用 ・任期終了後市内で起業等をする隊員に対し、補助金を交付(対象者1人)	12,750		
			財	国・道支出金	
			源	地 方 債	
			内	そ の 他	
			訳	一般財源	12,750

浜益支所

(単位：千円)

所属名 (款・項・目)	新規 拡充	事業名・事業内容	予算額		
(7・1・3)		浜益区観光まちづくり推進事業 (市民による観光まちづくり推進事業費) 地元中学生や都市部学生等と連携し、地域資源を活かした観光プロモーションを実施する浜益観光まちづくり推進協議会に経費の一部を交付する。 ・中学生による首都圏PR 4月中旬(予定) ・特設物産ブースの開設 9月～11月(予定)	1,500		
			財 源 内 訳	国・道支出金	
				地方債	
				その他	1,500
				一般財源	

みんな待ってる

行くべさ**浜益**

厚田 / 浜益

どっちも
どっちも
ハマ
アサ
るし、
い。



南北約70kmに広がる鮭のふるさと
「石狩市」。

平成 26 年から地域おこし協力隊の募集を開始し、現在市内で6人の隊員が情報発信や地域資源を活用した体験型観光プログラムの創出などに取り組んでいます。

あいの風吹く

あったか**厚田**

石狩市地域おこし協力隊 各 **1** 名募集

詳しくは 

石狩市地域おこし協力隊 について

さけ太郎



北海道石狩市 って？

札幌市の北に隣接する、人口約5万8000人の日本海に面した南北約70kmに広がる鮭のふるさと。石狩湾に注ぐ石狩川の河口、暑寒別天売焼尻国立公園などの雄大な自然環境の中にあり、北海道を代表する郷土料理「石狩鍋」は、まさに石狩市発祥です。

さけ子



浜益区

札幌中心部から車で約90分。多くの登山愛好家が訪れる名勝「**黄金山**」や国蝶「**オオムラサキ**」の北限地であるなど、**雄大な自然**が魅力の地域です。

まちの産業の中心は**一次産業**で、良質なコメの生産やサケやニシン、ホタテ・ウニ・タコ・ナマコなどの漁業が盛んです。

厚田区

札幌中心部から車で約60分。盛んな一次産業を活かした「**あつた港朝市**」や「**厚田キャンプ場**」等は多くの観光客が訪れ、平成30年春には道の駅石狩「**あいろーど厚田**」がオープンしました。また、令和2年には保育小中一貫校「**厚田学園**」が開校し、学習面での期待も寄せられています。



厚田・浜益区が求める人材

食



豊富な食材を使った
新しいグルメや加工品
の開発ができる人

子



「子供の教育」に関心が高く、
学力やスポーツ向上の指導など
子供達の活動を支援できる人

観



様々なイベントを
企画・実践しながら
地域活性化に取り組める人

月額

208,000円

(昨年度の実績)

協力隊
FACEBOOK



お問い合わせ

浜益区

電話 0133-79-2111

メール h-chiikis@city.ishikari.hokkaido.jp

厚田区

電話 0133-78-2012

メール a-chiikis@city.ishikari.hokkaido.jp

受付期限

2月26日(金)まで

詳しくは市のHPへ→



浜益150年記念事業（予算額：600万円）

◆記念広場の整備

【事業の背景】

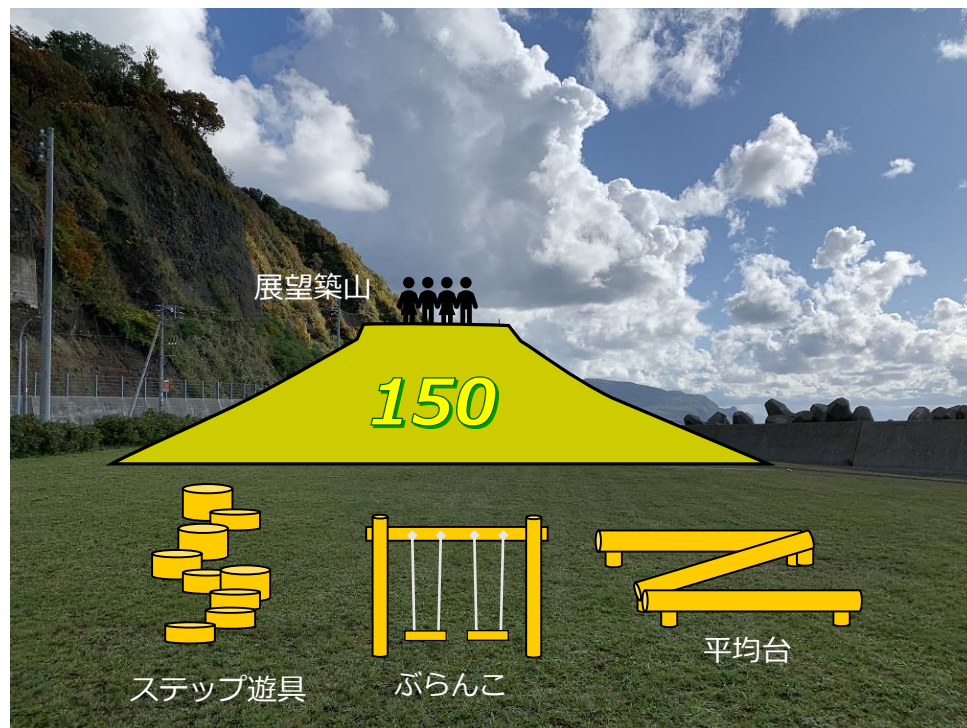
- 明治5(1872)年4月、浜益に戸長役場が設置され「浜益村」が開村。
 - ・平成17(2015)年の市村合併を経て、令和3(2021)年は「浜益村」の誕生から通算150年となる。
- 「150年」を記念して
 - ・浜益は海山川など自然の遊び場には恵まれているが、小さな子が遊べる遊具がない。
 - ・「小さな子たちが安心して遊べる遊具の設置を検討できないか（R元第5回地域協議会）」

150周年を記念した
「築山・遊具等」の設置

【事業概要・コンセプト】

- ・幅広い世代の交流による郷土愛の醸成を図るため、浜益コミュニティセンターきらり隣接地に、築山や遊具等を設置
- ・地域協議会選抜メンバー等による実行委員会で事業を実施
- ・遊具等整備の他、関連記念事業を検討（オープンセレモニー、浜益の歩み記録事業など）
- ・地域振興基金を活用＋区内外からの協賛金を検討
- ・設置後の維持管理は市（指定管理者）が実施
- ・浜益観光まちづくり推進協議会の取組みや浜益コミセンとの一体的活用による、新たな観光資源化

（事業実施イメージ・例）



（現在の浜益中央公園）



○主な設備

- ・ゲートボールコート
- ・パーゴラ（東屋）
- ・園路
- ・トイレ

○公園内に

- 「浜益村開基100年記念碑」
昭和45（1970）年建立
※国道切替後に現地に移設

[illegible]

◆村民・区民カレンダーアーカイブの製作

[illegible]

ワーケーション実証事業（予算額：200万円）

民間企業（IT企業）や区内で活動しているNPO法人と連携して、旧適沢コミセン（旧カフェ・ガル）を活用した「ワーケーション」の受入れ事業を試験的に実施

- ・都市企業の社員が旧適沢コミセンでリモートワークをしながら、アウトドアなど自然体験や農漁業の作業体験など「浜益暮らし」を満喫していただく
- ・体験等を通じてITを活用した地域の課題解決を検討
- ・関係人口の拡大、「移住促進」や「二地域居住」などの足掛かりに

【ワーケーションとは】

「非日常の土地で仕事を行うことで、生産性や心の健康を高め、より良いワークスタイル、ライフスタイルを実施することができる一つの手段」

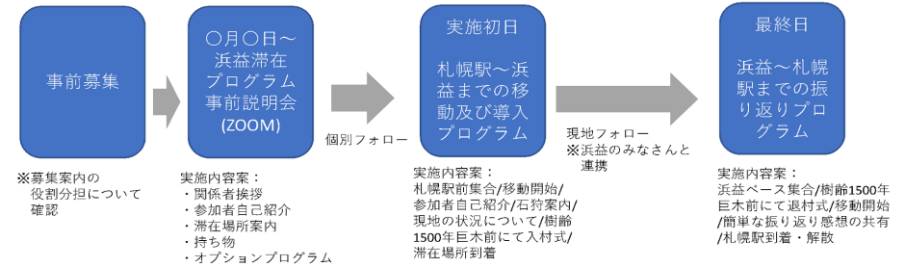
NPOによる受入れコーディネート（イメージ）

期間：基本的な実施期間として、4月中旬～11月中旬(28～30週)

※冬期間のプログラムは別途検討

実施イメージ：

- ・滞在は、一週間単位で受け入れを実施
- ・イン、アウトは、毎週〇曜日と固定することでリズムをつくる
- ・事前説明会→札幌駅→浜益まで導入プログラム開始→現地滞りの流れ



月	火	水	木	金	土	日
			in	第一グループ滞在開始		
			inout	第二グループ滞在開始		
			out			

※In-outの日程を毎週〇曜日と固定

滞在中の作業体験等の検討案 ⇒ 地域課題洗出しのきっかけ

	勤務先	ホスト	仕事の内容	想定時期	就労期間	特記事項
1	果樹園	果樹園主	サクランボ摘果、選別補助	6月～7月	2W～	秋はリンゴ、プラム、ブドウ等
2	水稲農家	農家さん	田植え、稲刈り補助	5月、9月	春・秋各1W程度	学生受入れ実績有
3	畜産農家	農家さん	牛舎の清掃・整理、牛の世話	通年	1W～	学生受入れ実績有
4	和牛牧場	浜益支所	バラ線欄の補修、牛の確認	5月～10月 随時	1W～2W	週3～4日×7h バラ線作業が主
5	漁業関連作業	各漁業部・漁師等	主に陸作業（網はすしホタテかご洗浄他）、朝市出店等	通年	要調整	漁期との調整必要
6	コンビニ	民間企業	接客、レジ作業、商品陳列など	通年	4W～	夏休みの学生短期アルバイトなど実績有 1日3h～
7	海水浴場・キャンプ場	観光協会	駐車場受付、料金徴収	7月～8月 (R1は7/13～8/18の約5W)	1W～5W	8:00～17:00
8	浜益温泉	社会福祉協議会	浴室の清掃・消毒作業	通年	1W～	AM8:00～2h、PM9:00～1h等 温泉入浴付
9	浜益川	観光協会	サケ釣獲調査監視員（ライセンス制サケ釣りの見回り）	9月～10月 (R1は9/5～10/14の約6W)	1W～6W	早4:30～11:30 遅11:30～17:30

民間企業とNPO法人との連携

【ニーズ】

- ・ワーケーション
- ・パラレルキャリア
- ・リフレッシュ
- ・ビジネス領域拡大

三大都市圏企業
(IT系)

- ・ワーケーション推進
- ・ITソリューション活用

【スキル】

- ・ITサービス（データ解析、ツール導入）
- ・事業企画
- ・プロモーション

リモートワーク



【スキル】

- ・若者のマンパワー
- ・地域課題の共有化
- ・ファシリテーション
- ・人的ネットワークの構築・拡大

【地域の課題】

- ・人手不足
- ・地域産業の活性化
- ・地域資源の有効活用
- ・関係人口拡大による地域の持続

NPO法人

- ・現地コーディネート
- ・ワークショップ企画

就労・体験



未利用施設の活用
& 滞在拠点の整備

石狩市（浜益支所）

- ・未利用施設の活用
- ・施設環境の整備
- ・現地ホスト開拓

旧カフェ・ガルをワーケーション拠点として活用

施設名	適沢コミュニティセンター (旧カフェ・ガル)
所 在	石狩市浜益区浜益77番地2
アクセス	国道231号線沿い 札幌駅より約74km車で約93分
敷地面積	敷地4,065㎡ (建物292㎡、外構ほか3,773㎡)
建 物	木造2階建て 延べ床面積465.75㎡ 平成3(1991)築
用途地域	都市計画区域外
利用休止	平成30(2018)年10月～



- 【再活用に向けた経緯】
- R元.9月 第4回地域協議会
「民間利用も視野に、早急に具体的な活用方法を見出していく。」第8期への引継ぎ事項
- R2.1月 第6回地域協議会
・有効利用に係るサウンディング型市場調査の実施について協議
- R2.2月 サウンディング型市場調査 参加受付
・最終的に応募なし
- R2.4月 旧カフェ部分の活用提案
・元浜益中関係者(個人)から提案 → R3.4 OPEN予定
- R2.5月～ ワーケーション拠点としての活用検討
・IT企業、NPO法人との継続協議(週1リモート)

